

2024/新春号 Vol.26

MI·RA·Is ユーザーフォーラム通信

ユーザーフォーラム会長より新年のご挨拶

令和6年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

本年元旦に発生した石川県能登半島地震の被災者におかれましては、亡くなられた方々に心からお悔やみを申し上げるとともに、被災された全ての方々に
お見舞いを申し上げます。一日も早い復興をお祈り申し上げます。

電子カルテMI·RA·Isをより使いやすく、充実したシステムへと発展することを
目的として発足したMI·RA·Isユーザーフォーラムは、今年で20年目を迎えます。
MI·RA·Is ユーザー数は令和5年12月末現在で922件となりましたが、これもユーザーの皆様と、CSI社、賛助会員の皆様の温かなご指導・ご支援があつての賜物と思っております。この場をお借りしまして心から厚くお礼申し上げます。

コロナが5類に移行したことで、人的交流も少しずつ回復してまいりました。
MI·RA·Isユーザーフォーラム活動においても、各地で開催される情報交換会、
見学会を再開する方向で検討を進めているところです。

毎回200名以上の方にご参加頂いている年1回のユーザーフォーラム大会
は、ハイブリッド形式で昨年7月13日に開催することが出来ました。現地参加者
も176名と多数お越し頂きました。基調講演は、長きに亘りユーザーフォーラム
副会長としてご尽力頂いた日本海総合病院島貫隆夫理事長より『地域における
医療DX～広域にわたる全体最適化への取組～』と題しご講演頂きました。事例
発表5演題ではいずれも電子カルテ導入後の工夫によるもので、基調講演とと
も大変参考になったとのアンケート結果を多数頂きました。

国は医療DXの推進に関する工程表を実現するため、全国医療情報プラット
フォームの構築に取り込んでおり、遅くとも2030年には概ねすべての医療機関
において、必要な患者の医療情報を共有するための標準型電子カルテの導入を
目指すこととなっています。

導入対象として、電子カルテの普及が進んでいない200床未満の中小病院ま
たは診療所が想定されていますが、私たちの仲間が増える絶好の機会とも考
えています。今後、患者情報の一元化としての「生涯カルテ」構築を考える場合、
医療側の電子カルテのみならず、介護システムとの情報連携対応も非常に重要
となります。医療・介護DXを一括して考えるのであれば、データ解析によるエビ
デンスを元に地域連携を構築する時代になったと言えるのではないですか。

そういった意味では、より一層私たち情報システムに関わる立場からの企画
力、創造力、また実行力が問われていると言えます。そのためには、ますますユ
ーザー同士の交流が深まるようなユーザーフォーラムとする所存ですので、これ
からもご支援、ご協力をどうぞ宜しくお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様の益々のご発展とご健勝を祈念しましてご挨拶に
代えさせていただきます。

MI·RA·Isユーザーフォーラム会長 高橋 肇



高橋 肇 先生
社会医療法人 高橋病院

ユーザーフォーラム新任役員のご挨拶

5名の新任役員の皆様を紹介させていただきます

医療法人社団 札幌道都病院

矢嶋 知己 様

あけましておめでとうございます。この度、フォーラムに役員として参加させていただくことになりました札幌道都病院の矢嶋知己と申します。2011年にMI・RA・Is/EXを導入して以来、フォーラムにはできる限り参加し、いつも勉強させていただいておりました。現在はMI・RA・Is/AZで日々の診療を行っております。フォーラムに参加されるユーザー皆様が円滑にコミュニケーションをとれるようお手伝いできたらと考えております。何卒よろしくお願い申し上げます。

医療法人社団 札幌道都病院

根府 尚弘 様

このたびMI・RA・Isユーザーフォーラム運営委員を拝命いたしました医療法人社団 札幌道都病院の根府でございます。当院では2011年にMI・RA・Is/EXを導入して以降、様々なICT化を推進してまいりました。特にMI・RA・Isは業務システムの中核であり、当院にとって不可欠なシステムであります。今後もMI・RA・Isを先進的な電子カルテとして共に発展させるべく、ユーザーフォーラムにおいて協力していく所存です。よろしくお願いいたします。

医療法人 永生会 法人本部

廣澤 一彦 様

はじめまして。
八王子市にあります医療法人社団永生会永生病院の廣澤一彦と申します。永生病院は20数年来MIRAIsのお世話になっており、ユーザーフォーラム発足時より役員病院として関わらせていただいております。この度、前任者よりこの重責を引き継ぐこととなりました。ユーザーにとって有益なフォーラムとなるよう、同時にユーザーフォーラムの益々の発展のため、微力ながら尽力させていただきます。よろしくお願いいたします。

医療法人社団 永生会 みなみ野病院

青木 祐 様

本年度よりユーザー役員を務めさせていただきます、みなみ野病院青木祐と申します。
初めての経験で戸惑うこともございますが、お互いのニーズを理解し合いながら提案や改善策を継続的に模索し、MIRAIsの改善に貢献できるよう努めて参ります。皆さまと共に良い方向に進んでいけることを期待しております。今後ともご協力・ご支援賜りますようお願い申し上げます。

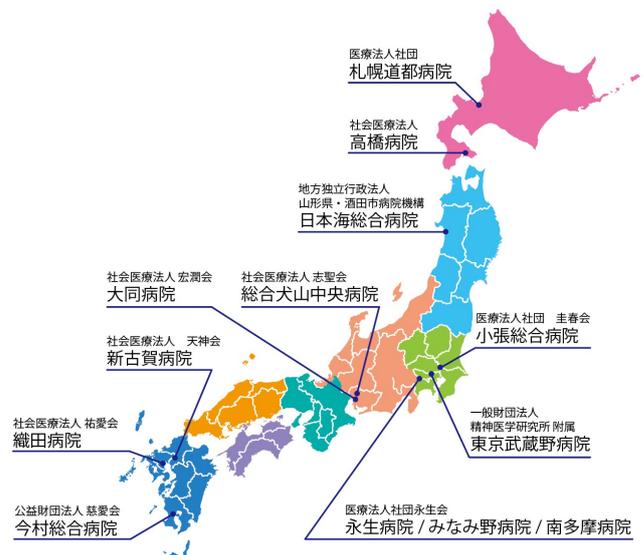
医療法人社団 永生会 南多摩病院

行友 啓 様

この度、役員に就任致しました、南多摩病院の行友と申します。南多摩病院は西八王子駅前に立地する東京都指定二次救急医療機関であり、地域に根付いた医療の提供を行っております。
MIRAIsは導入から10年以上が経過しており、当院においては日々の医療活動を支える根幹となっております。今後もMIRAIsがより良い医療システムへと発展するよう、微力ながらご助力させていただく所存です。みなさま何卒よろしくお願い致します。

MI・RA・Isユーザーフォーラム運営委員病院

- 社会医療法人 高橋病院
- 医療法人社団 札幌道都病院
- 地方独立行政法人 山形県・酒田市病院機構 日本海総合病院
- 一般財団法人精神医学研究所 附属 東京武蔵野病院
- 医療法人社団永生会 永生病院
- 医療法人社団 永生会 みなみ野病院
- 医療法人社団永生会 南多摩病院
- 医療法人社団 圭春会 小張総合病院
- 社会医療法人 宏潤会 大同病院
- 社かい医療法人 志清会 総合犬山中央病院
- 社会医療法人 天神会 新古賀病院
- 社会医療法人 祐愛会 織田病院
- 公益財団法人 慈愛会 今村総合病院



医療DX

が始まります

医療分野でのDX(デジタルトランスフォーメーション)を通じたサービスの効率化・質の向上を実現することにより、国民の保健医療の向上、最適な医療を実現するための基盤整備が推進されます。

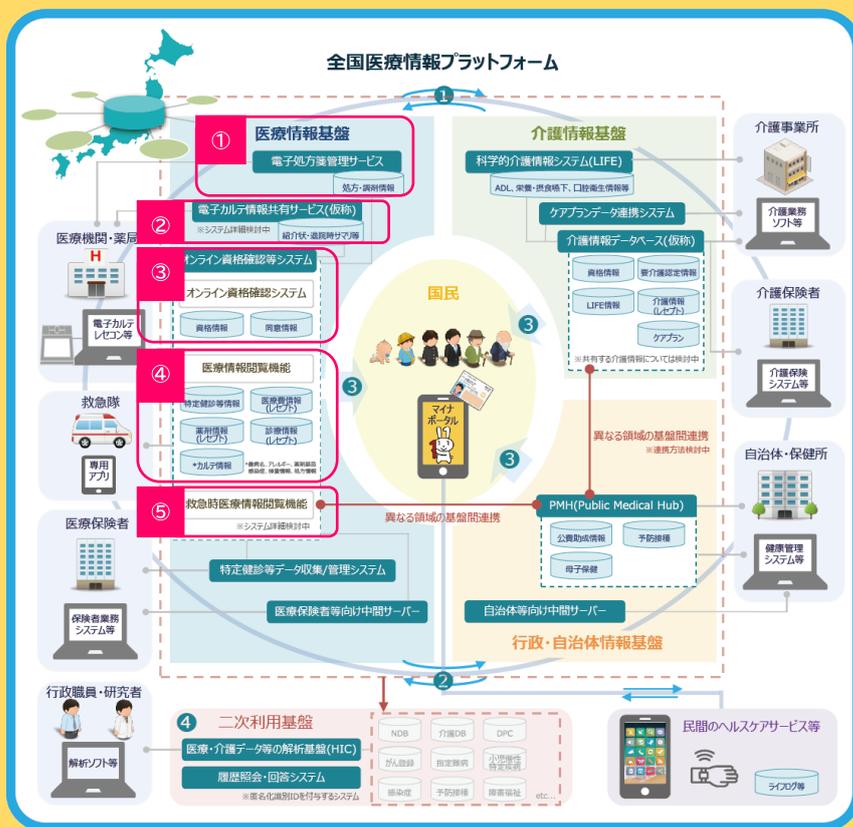
医療DX推進の基本的な考え方は、①国民のさらなる健康増進、②切れ目なく質の高い医療等の効率的な提供、③医療機関等の業務効率化、④システム人材等の有効活用、⑤医療情報の二次利用の環境整備となります。具体的な施策としてマイナンバーカードの健康保険証の一体化の加速・全国医療情報プラットフォームの構築・電子カルテ情報の標準化・診療報酬改定DX がかけられています。

シーエスアイは、山形県酒田地域での電子処方箋モデル事業に参画致しました以降も、電子カルテベンダーとして医療DXの具体的な施策に様々な形で取り組んでおります。特に、電子カルテ情報の標準化につきまして、検討ワーキンググループに参加し要件定義や調査研究に関わり、2024年度中の開発着手という国の施策に協力させていただいております。電子カルテ未導入の医療機関を含め、電子カルテ情報の共有のために必要な支援が実行され、遅くとも2030年には、概ねすべての医療機関において、必要な患者の医療情報を共有するための電子カルテ導入が目標とされています。

右記全国医療情報プラットフォーム記載の項目につきまして、MI・RA・Is製品は順次対応機能をリリースしていく予定です。なお、リリース時期につきましては変更の可能性がございます旨ご承知おください。

※枠を付けた個所がMI・RA・Is製品で対応予定の内容となります。

- ①オンライン資格確認(医療扶助)・・・2月末
- ②電子処方箋(リフィル・口頭同意)・・・4月
- ③電子処方箋(マイナンバーカードによる電子処方箋)・・・4月
- ④オンライン資格確認(救急時閲覧対応)・・・対応時期調整中
- ⑤電子カルテ情報共有サービス(3文書6情報)・・・対応時期調整中



全国医療情報プラットフォーム 第4回「医療DX令和ビジョン2030」厚生労働省推進チーム資料
<https://www.mhlw.go.jp/content/10808000/001140173.pdf>

令和6年度診療報酬改定の基本方針として以下4つの大きな視点が提示されております。現在(2024年1月末時点)は、中央社会医療保険協議会の答申・告示を待つ段階ですが、MI・RA・Is製品も業務効率化や医療DXといった施策にシステムで対応して参ります。

- ・雇用情勢も踏まえた人材確保・働き方改革等の推進(重点課題)
- ・ポスト2025を見据えた地域包括ケアシステムの推進、医療DXを含めた医療機能の分化、強化、連携の推進
- ・安心・安全で質の高い医療の推進
- ・効率化・適正化を通じた医療保険制度の安定性・持続可能性の向上

厚生労働省 令和5年12月11日
https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000187434_00004.html

2024年6月

診療報酬
改定につきまして

変革の時代を見据えた「進化する」電子カルテシステム

2024年1月販売開始いたしました



医療の未来を築く、MI・RA・Is V (ファイブ)

感染症からサイバー攻撃まで、変化する医療環境に対応するための進化が、ここに。医療安全、仕事効率向上、経営支援の3つの柱が、一般的な電子カルテの常識を超え、未来志向の医療DXを実現。標準機能の使いやすさに加え、最新テクノロジーが織りなす安心・安全な医療を提供します。MI・RA・Is Vの一部機能をご紹介します。



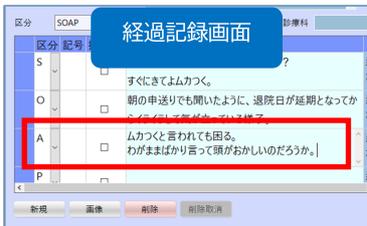
スクロール形式カルテ画面と紙カルテ2号紙カルテ画面を自由に切り替え可能

Vの新機能であるスクロール形式カルテ画面は、カルテ記載日を縦に表示し、スクロール形式で過去カルテへのアクセスが可能です。文字フォントや大きさ、配色や画面位置など画面レイアウトは職員毎に設定可能です。従来の紙カルテイメージで利用できるレイアウトとの2パターンを職員それぞれが自由に切り替えてご利用頂くことが可能です。



看護記録の語句監視機能

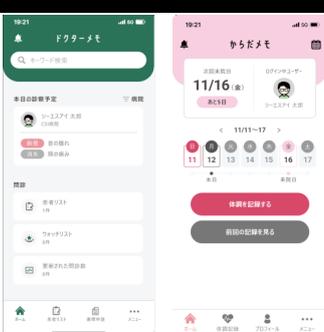
経過記録作成の際に、特定の文言が含まれていないかを、システムにてチェックを行う機能です。



人種・本籍地・職業・家族状況・経済状況・社会的身分・宗教・信条に関する表現をする際、人権や人格の侵害の恐れのある文章とならないように、指定された文字列が含まれていた場合に警告表示致します。

スマートフォン向けPHRサービス・ドクターコネクト

2024年1月末より、スマートフォン向けPHRサービス『ドクターコネクト』をリリースしました。ドクターコネクトは、患者様向けのPHRサービス「からだメモ」と医師向けサービス「ドクターメモ」の2つを連携しています。患者は自身の体調管理情報を入力し、電子記録として本人や家族も正確に把握でき、診療時は担当医師に伝達可能となります。2024年内に、MIRAIsとの連携機能を順次リリースして参ります。



「第19回 MI・RA・Isユーザーフォーラム大会」を開催いたします

例年、様々な医療機関様によるMI・RA・Is活用事例や運用における課題と改善に向けての取り組みなどをご発表いただいております。昨年に続き、有明会場にてオンラインのハイブリッド開催となります。多くの医療機関様のご参加をお待ちしております。

開催日程：2024年7月10日(水)
会場：有明セントラルタワーホール
<https://ariaike-hall.jp/access.html>

※ゆりかもめ線 東京ビッグサイト駅 徒歩4分
りんかい線 国際展示場駅 徒歩5分
国際モダンホスピタルショウ2024に大変近い会場です
※例年開催しておりました木曜日から水曜日に変更となります

次回
ユーザーフォーラム
大会開催について

1月に発生した能登半島地震により、被災された皆様にご心よりお見舞い申し上げます。シーエスアイを含むCEホールディングスグループの株式会社Mocosukulは、七尾市のDXアドバイザー様を進めている「株式会社創生ななお様」からのご依頼により能登半島地震で被災された方々に、ココロとカラダのカウンセリングを開始いたしました。被災地の一刻も早い復興をお祈り申し上げます。

編集後記

ユーザーフォーラムサイトはこちらから！▶▶▶

MI・RA・Isユーザーフォーラム事務局
株式会社シーエスアイ 事業推進本部



TEL : 03-5944-6120 E-mail : csi-jisui@csiinc.co.jp
FAX : 03-5944-6122 HP : <https://mirais.csiinc.co.jp/>